



撮影場所：西川新倉林道

ただ、佇み、ただずっと、眺めていた。心には、物語が流れていた。

夕暮れ時、湖を見下ろす。空はあかね色に染まり、湖面は金色に輝く。吹き渡る風の音まで聞こえてきそうな静寂の中、どこか寂しげで、それでいて凜とした表情を浮かべる湖に、ゆっくりと夜が訪れる。

河口湖は海拔830mと富士五湖の中で一番低いところにあります。周囲は約20kmと五湖の中で最も長く、複雑に入り組んだ美しい湖岸線が続きます。正面に富士山を望む景勝地も多くあり、湖面にうつる逆さ富士の美し

さでも知られています。

富士山とともに見る湖の姿はもちろんですが、高台から見下ろす湖もまた風情があります。暮れ時、御坂旧道から富士吉田へと抜ける西川新倉林道から眺めた河口湖は、夕陽を浴びてキラキラと光り、美しい金色に染まっていました。周りの山々は輝く湖を優しく包み込み、灯りがともりはじめた町は、まるでその景色を静かに楽しんでいるようです。

季節とともに、時とともに姿を変えてみせる河口湖。そこには、まだ出会ったことのない美しい景色が待っています。